

3

協定締結記念講演

歴史を学び 未来へつなぐ



安中と同志社のつながりを話す本井さん



夢を追い続け、努力する大切さを語る朝原さん



陸 上教室に加え、安中市文化センターで記念講演が行われました。前半は、元同志社大神学部教授でNHK大河ドラマ「八重の桜」の時代考証も務めた本井康博さんが「安中と同志社の史的連鎖 シン・中山道への道」をテーマに新島襄を中心とした安中と同志社の歴史と未来像についてわかりやすく解説。後



半は、朝原さんが「夢を追いかけて 諦めなければ夢は叶う」と題し、中学まで打ち込んでいたハンドボールから高校で陸上に転向したエピソードをはじめ、「一日一日、自分が成長しているという気持ちが大切」と、その後の競技観などについて話し、多くの観客が耳を傾けていました。

“今しかできないことを大切に”

陸上教室と講演会を通して、自身の経験や陸上の魅力について、多くの生徒や市民に伝えていただいた朝原さん。最後に一言いただきました。

渡米したアーモスト大学で先進的な学問やスポーツを学んだ新島襄は帰国後、国内の大学でいち早く、同志社のキャンパスにチャペルと体育館を建てたそうです。

今日一日をとおして、新島襄先生の教えが今も生きている「同志社大学」という学校で学んでいたんだ、とあらためて実感しました。

同志社の卒業生として、新島襄とゆかりのある安中市の中学生たちと、陸上競技の「先輩」として関わることができて良かったです。今しかできないことを大切に、いろいろなことに取り組んで行ってもらいたいです。

